

株式会社ニットー

「唯一無二の研磨技術」 その技術と研鑽は社員にも通ず？

代表者名	牧 恵一郎
従業員数	165人（2024.5現在）
設 立	1943年12月1日（操業1877年より角一牧製糸所）
住 所	須崎市大字八重森2-2
T E L	026-245-0637
事業内容	精密平面研磨、産業用機器組立、建築材等 アート硝子設計・作製
給 与	募集要項を参照ください。
U R L	https://www.nitto-gr.co.jp/

須崎市は、明治から大正にかけて製糸業で栄えた町。今も残る蔵の町並みが当時を物語ります。株式会社ニットーも明治10年に製糸業を家業として始まり、その後コンデンサーの製造、双眼鏡レンズの研磨などを経てガラスの研磨技術のスペシャリスト企業として成長を遂げてきました。現在は本社屋を美しい山々の風景を望む須崎市八重森に構え、本社を含む2つの工場で事業を展開しています。



本社社屋

●世界で唯一無二の技術力

ニットーが手掛ける研磨製品は、スマートフォンのフォトマスク、カメラのレンズ、電波受信に使われる部品、5G通信基地で使われる半導体部品、電気自動車で使用されるパワー半導体部品など、身近な物に使われている専門部品の研磨加工を行っています。またこの技術を生かした美しいアート建材の製造も行っています。取材当日はニットーの技術力、働き方など、色々伺いましたが、何より、今まで知ることができなかった魅力を沢山知ることができました。

さて、ニットーといえば、「技術力」と「大型サイズへの対応力」、そして「大量生産能力」が強みとしてあげられるでし



ご対応いただいた栗田様（右）と根岸様（左）

よう。加工をする素材は、ガラス、セラミック、樹脂、プラスチックと様々ですが、品質を保ったまま、大型製品でも、そして大量に生産する事ができるのは、ニットーの技術力があってこそ。具体的な数字で言うと、研磨後の表面の粗さは1Å（オングストローム）とのこと。これは長さの単位で、何と「100億分の1メートル、0.1nm（ナノメートル）」を表す単位。とても細かい！そしてこの精密な「平らにする」技術と工程はとても大切で、これ次第でインクの「のり」が変わってしまったり、製品の片寄りがでしてしまうそうです。さらにこの技術の進化が、完成した製品の強化や軽量化につながります。既に高いレベルにありながらも、更なる研鑽を続ける姿勢には尊敬しかありません。

そして、ニットーはこの技術力が認められ、「はばたく中小企業・小規模事業者300社」の「生産性向上部門」で選定されています。これは、「経済社会構造の変化に対応して事業変革や新規事業に挑戦し、地域経済や日本経済の成長への貢献が期待できるモデルとなる中小企業を表彰する制度」（中小企業庁HPより）なのですが、須坂市のニットーが受賞、そして世界中の誰もが知る商品に使われる部品の需要を、須坂市から支えている事を思うと誇らしい気持ちになります。



「はばたく中小企業・小規模事業者300社」の表彰状

●ニットーでの働き方

入社にあたっては文系理系問わず人材を求めており、入社後もそれぞれの能力を生かした活躍の場があります。その中でも理系出身を主に望んでおり、また業務に必要な危険物取扱や、ボイラー技士、電気工事士などの資格も入社後に取得し業務に取り組んでいる部署もあります。ニットーの独自の技術や研鑽についてはどのようにされるのでしょうか。これらについては入社後に社内教育で習得していくことになります。出てきた課題については、毎日の朝礼で報告し合い、共有を図ります。

また、「改善提案制度」についても教えていただきました。所属課に関するものが多いようですが、社員より各

行に関する改善提案を募っています。自由な提案ができるように、管理職ではない若手社員からの意見中心に募っていて、改善案を提案し、成果が認められたものには表彰があります。実際に大きなコスト削減に関わったものなど、素晴らしい案が集まるそうです。

ところで、働きやすさはどうでしょうか。ニッソーの勤務時間は朝8時から17時で、土曜日と日曜日の週休2日制です。残業時間は1ヶ月あたり6.8時間(2023年平均)。出産を経ての復職率は100パーセント。仕事と家庭の両立をされている方も多く、近年では男性の育休取得率も増えています。

独自の制度について伺います。「誕生月や自分の子どもに関係する記念日などのアニバーサリー休暇が年3日取得できます。」他にも、社内恒例の忘年会などの開催。そして、須坂市では、7月に「カッタカタ祭り」という大きなお祭りに、ニッソーも「企業連」として参加しています。



会議風景



カッタカタ祭り。団結力と仲の良さが伝わります

●ニッソーでは当たり前!? 魅力に迫る

当日お話を伺った管理部部長の栗田様についても教えていただきました。まずは技術職からキャリアをスタートされ、製造、品質保証、購買を経て現在の管理の部門で、複数の部門の管理全般をされていらっしゃるようです。

「足りないところを改善しながら足していくような業務」とお話いただいたのですが、栗田様は「長くやってこられたのは、周りの仲間たち、社長や専務のおかげだ」とおっしゃいます。続けて「いさめながらも協力体制があること」「時には、言いたいことも言ってしまう風通しの良さがあること」そして社長や専務の魅力の一部についても教えてくださいました。「怒らない」「いさめながらもやり方を指導してくださる」「挑戦させてくれる」「お前はもうだめだとは言わない」そんなお人柄だそうです。

さて、社長や専務との意見交換が多い印象です。栗田様曰く「毎日お話をしている」「社員の皆様も普通に話しかける」とのこと。社内で社長とお話しする機会を設けているのでしょうか? 聞けば、社長や専務は、他の社員の皆様と同じフロアで業務にあたられているそうです。会社宛のお電話も受けられるとか。これは緊張しませんか? 栗田様曰く、「もう慣れてしまった」との事。

この辺りでとても大切な事に私は気づいてしまいました。そうです「ニッソーの魅力」に。私のニッソーのイメージは「クールに技術の高みを目指す職人集団」「誠実で信頼できるイメージ」でしたが、本日のインタビューで、「お互いを尊重し社員様同士の関係を大切にされている事」「社内の風通しの良さ」こういった事が当たり前にある事。そういった魅力を知ることができ、この場で皆様へもご紹介できてよかったです。

●求める人物像

さて本題に戻り、求める人材について伺います。「技術を取得したい」という熱い気持ちがあれば評価いただけるとの事。そして、「元気で明るく挨拶できる人」「コミュニケーションがとれる人」ということも一緒に働く仲間として重要に感じているそうです。そして「前向きにチャレンジしてくれる人」こういった方も歓迎とのこと。こういったところからも、ニッソーの社員間の関係性、一緒に切磋琢磨していこうという気持ちを感じられますね。

また、社内は北信出身者が多いという事もあり、視野が狭くならないように、外からの新しい視点をもって仲間に加わってくれる方も大歓迎との事です。きっとニッソーであれば、お互いを尊重し合って研鑽していけることと思います。

●最後に

伺ったお話を振り返ってみると、とにかく「クリーンで真っ直ぐ」な事が印象的でした。素晴らしい技術も制度も飾らずありのままに伝える。この爽やかさと風通しの良さがニッソーの社風を作っている事を強く感じました。まだまだお伝えできなかったニッソーの試みや魅力については、是非ホームページ等をご覧いただければと思います。企業見学や説明も受付もしているので、お問い合わせください。